

昨秋、奈良国立博物館で開催された正倉院展を見ました。普段奈良県に居住しているといっても、あまり奈良市には行かないので、奈良公園や春日大社へ行くことはありません。小学校の社会科の授業では斑鳩のことについて学び、法隆寺境内を遊び場として走り回っていました。それでもこの寺を別段世界遺産として見ていたわけではなく、今回正倉院展を見て、初めて身近なところにも素晴らしいものがあったということに気付きました。博物館に行った理由の一つには、仏像について知りたくなったということも含まれています。正倉院展で、数々のガラスや刺繍、昔にこんな高度な技術があったのかと思わせるような細かな模様を見てとても驚きました。

京都へ行った時、清水寺などにも興味を持ちつつ、ぶらぶら歩いて六波羅蜜寺を拝観。そこに空也上人像がありました。空也上人像は康勝の作で、浄土教の祖といわれる彼が念仏を唱えると「南無阿弥陀仏」の音声の小仏に姿を変

えたという伝説を表現しています。

このように、奈良高専が『キャンパスメンバーズ』に加入したおかげで、さまざまな寺やその中にある仏像等に興味をもち、調べるまでになりました。だからこれからいろいろな所におもむき、いっぱい見て聞いて学びたいと思います。

※「奈良国立博物館キャンパスメンバーズ」とは、奈良国立博物館と大学等とが連携し、博物館をさまざまなかたちで活用できるようにした制度です。本校も2年前からこれに加入していますので、学生諸君もこの制度を大いに利用してください。常設展示は学生証の提示によって無料で、特別展も同様に学生証を出せば400円で観覧できます。現在、奈良国立博物館で予定されている展示案内は以下のとおりです。

○當麻曼荼羅完成1250年記念特別展

當麻寺 一極楽浄土へのあこがれー

平成25年4月6日(土)～平成25年6月2日(日)

詳細は奈良国立博物館ホームページをご覧ください。

<http://www.narahaku.go.jp>

「2012年度 高専女子フォーラム in 関西」開催

電気工学科 藤田 直 幸

電子制御工学科 上 田 悦 子

2012年12月9日、新大阪にて「高専女子フォーラムin関西」を開催しました。このフォーラムは、本校が代表幹事校となって全国9高専連携で2011年度より実施している「全国高専女子学生の連携による高専女子ブランドの発信事業」のイベントの一つで、関西地区の「女子中学生と保護者」「企業関係者」を対象としたものです。

女子中学生を対象とした午前の部では、女子学生が連携して作成した「高専女子百科」の紹介をはじめ、専門教育や研究、学生生活などについて10高専・40名の女子学生がポスター発表を行いました。また、中学生と女子学生が名刺交換をすることで、会話が弾みました。また近畿地区各高専の進路相談コーナーも設けました。

午後からは、企業関係者へ向けた女子学生による発表に加え、企業関係者の方々からもそれぞれの企業における男

女共同参画への取り組みや女性技術者の活躍についても発表いただきました。企業側からは「プレゼンテーションが上手で、さまざまな質問にもしっかりと答えてもらえて驚いた」など高い評価をいただきました。また、学生においては「企業の方から、勉強内容をどう仕事へ生かせるかアドバイスを受け、今の勉強が役立つことを実感した。焦点をしばり、仕事としてやりたい事を決めていきたい」など、学生生活への意欲とキャリア形成への意識がさらに向上したようです。

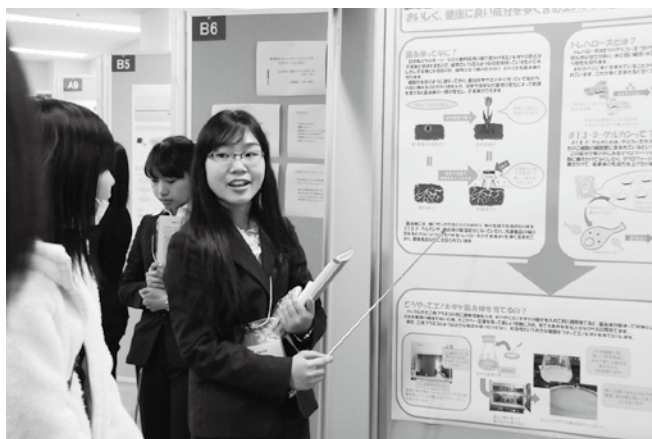
参加人数は、企業関係者35社47名、中学生と保護者23組、教育関係者12校20名で、スタッフをあわせると合計203名にものぼり、参加者の互いの意識向上や情報交換を行う場として大いに盛り上がりしました。

2013年3月26日には、東京・一橋講堂にて、「全国高専女子フォーラム」を開催します。

(<http://rikeigokoro.jp/jyoshi-forum/2012kansai.html> で詳細をご覧ください)



会場内の様子



来場者に説明する本校学生